

令和4年度鹿児島市教育研究会「小・中連携研修会」研修のまとめ

1 ねらい

鹿児島市では、次のような目的で中学校区ごとにグループを組み、毎年研修を行っています。

小学校と中学校が連携を深め、9年間の学びの連続性を追究することを通して、小・中学校の円滑な接続及び、確かな学力の育成や生徒指導等の充実等を図ることを目的とする。

今年度、東谷山中学校グループ（東谷山中・清和小・東谷山小）の研修は、東谷山中が担当校でした。その研修の様子についてお知らせします。

2 研究主題

小学校から中学校への円滑な接続を図るにはどうすればよいか

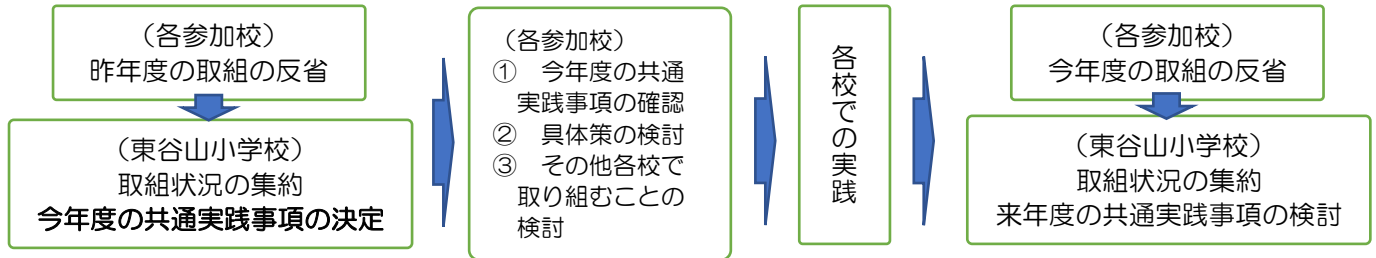
3 研修の進め方

今年度も、感染防止対策のために、会場校に集まって授業参観をしたり、意見交換をしたりなどの研修は、難しいと考え、各校での課題をもとに共通実践事項を設定し、各校での実践を行う形で研修を進めることとしました。

<5月中>

<6月17日（金）>

<2月中>



4 今年度の共通実践事項と取組反省

【共通実践事項1】

・2分前着席、1分前黙想などの学習規律の徹底・ICT機器の効果的な活用・諸学力調査の結果分析の共有

具体的な取組	3校の取組反省
<ul style="list-style-type: none"> ・2分前着席、1分前黙想などの学習規律の徹底（学習用具、はじめと終わりのあいさつなど） ・ICT機器の効果的な活用（ロイロノートの活用） ・諸学力調査の結果分析の共有（NRT、鹿児島学習定着度調査、全国学力学習状況調査） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2分前着席の徹底を各校で取り組み、学習へのスムーズな移行ができた。 ○ ICT機器の活用については、各校で積極的に活用していくことで、子どもたちや教師の活用力がついてきた。今後もICT機器の効果的な活用を研究・実践し、三校で連携を取りながら今後も進めていきたい。 ○ 各調査の分析結果を各校で共有することができた。

【共通実践事項2】

・心のこもったあいさつをしよう・時間を意識して生活をしよう・情報機器の使用時間の制限

具体的な取組	3校の取組反省
<ul style="list-style-type: none"> ・朝のあいさつ運動、門礼の励行、先手あいさつ、語先後礼の実施など ・2分前着席・1分前黙想の実施 ・メディアコントロールウィークの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちのあいさつへの意識が高まった。先手あいさつや地域の方々へのあいさつも進んでできる子どもたちを増やしていきたい。 ○ タブレットや情報機器の使用法や家庭でのルール作りについて働きかけたが、使用の制限については各家庭様々である。今後も、家庭と連携しメディアルール作りに取り組んでいく必要がある。

【共通実践事項3】 特別支援教育における正確な情報収集と適切な指導の在り方の共有

具体的な取組	3校の取組反省
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校への円滑な移行・接続のための準備 ・定期的な連絡会 ・情報交換会の開催 ・個別指導計画及び個別支援計画の引継ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校で連携を図り、見学会・体験会を実施する中で情報交換等しながら中学校への円滑な移行・接続のための準備を進めることができた。今後も個別指導計画及び個別支援計画の引継ぎを確実にやっていく。

【共通実践事項4】

・授業内容や指導内容の情報共有や共通理解と指導法の研究・face to face、eye contact、smile等の共通理解と共通実践・小学校2校での実施テストの調整・教材教具や情報の共有

具体的な取組	3校の取組反省
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容や指導内容の情報共有や共通理解 ・学習内容の把握とそれを生かした指導法の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○ smileを意識することで、明るく和やかな雰囲気の中で学ぶことができた。 ○ 小中学校間で共通理解をする場の設定が課題。

